

探索活動を通して、様々なものと出会い、
十分に関わりながら、探求する面白さを味わう



鏡に映る自分に興味津々！
触れてみます…！



ボタンを押してみる…！



入園してから、寝返り・ずり這い・つかまり立ちなど、それぞれの発達の中で、今自分が伸びようとしている力を存分に使いたがっている子どもたち。目の前のおもちゃを自分で取ってみたくて、体をひねって寝返りをしたり、ずり這いでその場所まで向かったり、棚の上のおもちゃが気になって、つかまり立ちで取ってみたり…興味ひかれる“もの”と関わってみたい気持ちから、伸びようとしている体を存分に使いながら、体の使い方を身につけていきました。ものとの出会いの中で、触れてみたり舐めてみたりして、「どんなものだろう？」と感触を確かめてみる姿がありました。1期は、子どもたちがお部屋の環境に慣れていく時期でしたので、お部屋での探索を中心に、テラスや廊下などの探検に出かけました。中でも、いたずらボードの鏡やボタンがお気に入り。鏡に映る自分の顔に興味をもって、じっと観察したり、手を伸ばして触れてみたり…ボタンでは「押す」と反応があることにも気が付き、それが楽しくて、押してみようと思案錯誤する姿がありました。